

景観の保全を目指して

京奈和自動車道五條道路インターチェンジ周辺
景観保全型広告整備地区に指定



京奈和自動車道五條インターチェンジ

五條市では、市域の骨格を形成する金剛葛城山系・吉野川等の自然、市街地やその近郊に存在する樹林、田園、公園等により水と緑のネットワークを形成し、潤いと安らぎに満ちた都市空間づくりを進めています。

また京奈和自動車道・五條道路を広域的に人・物・文化が交流する広域交流軸と位置付けこの交通の要衝という特性をいかし、活気と潤いに満ちた南和地域の中心都市にふさわしいまちづくりを目指しています。

同道路の開通により、今後の広域的な地域間交流の活発化のなかで、世界遺産「吉野大峰」へのアクセスなど、南和地域の玄関口となる同道路のインターチェンジ周辺地域において、先導的に地域の顔としてふさわしい魅力的で開放的な空間を創出し、周辺の自然環境と調和した良好な広告景観の形成を図るため奈良県屋外広告物条例に基づき「景観保全型広告整備地区」に五條市の要請で県から9月1日に指定されました。

京奈和自動車道・五條道路インターチェンジ周辺景観保全型広告整備地区基本方針

1 広告景観づくりに関する基本構想

広域的な地域間交流の結節点として、また、南和地域の玄関口として、周辺の緑豊かな自然環境と調和し、落ち着きと安らぎを感じさせる地域の顔にふさわしい魅力的で開放的な広告景観づくりを図ります。

2 広告景観づくりに関する基本事項

ア 周辺の背景となる緑豊かな自然環境との調和

周辺の豊かな緑が作り出す自然環境と調和した広告景観づくりを図るため、屋外広告物について、背景となる自然景観に配慮した色彩を使用するとともに自然景観になじまない点滅照明等は使用しません。

イ 落ち着きと安らぎを感じさせる魅力的で開放的な空間の創出

地域の玄関口として、すっきりとした統一感のある広告景観づくりを図るため、屋外広告物の高さ、大きさが適度なものとなるようにするとともに、無秩序で雑然とした広告景観とならないよう形態への配慮や掲出の抑制を行います。

ウ インターチェンジにふさわしい、わかりやすい案内誘導広告

交通の結節点としての案内誘導機能を確保するため、わかりやすいデザイン表示や集合化による掲出を誘導します。